

見えない国境：新出入国管理 規定と技術冷戦シミュレーター

国務院令第841号がもたらす人材流動性の
パラダイムシフト

発行: 2026年9月

制作: TK MAX 金融・経済レポート

規制アプローチの根本的な転換

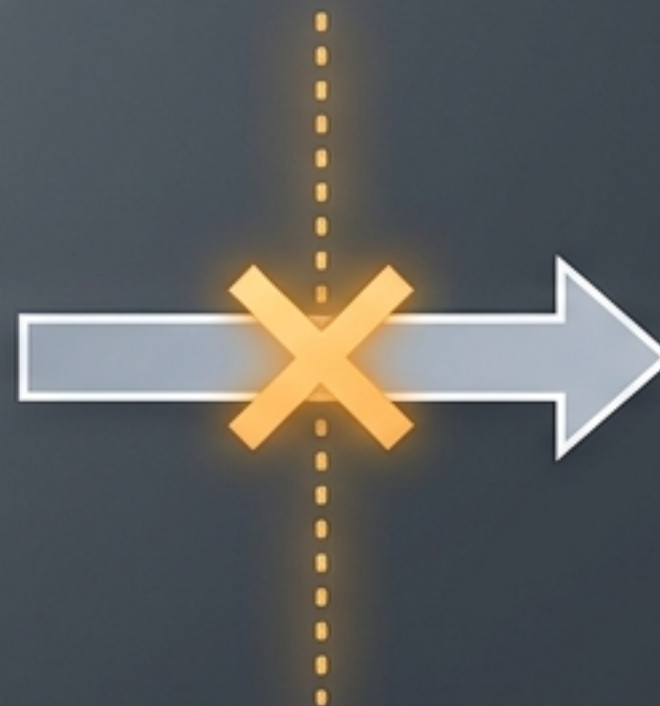
「技術を止める」アプローチから、「人を止める」アプローチへのシフト。

US/Japan Model



技術の受け渡しを規制（みなし輸出）

China Model



技術を持つ人自身の出口を塞ぐ

国務院令第841号の解剖学（2026年9月15日施行）

判断主体: 出入国管理当局ではなく、商務部など輸出管理担当部門が判断。

輸出管理や技術輸出入管理に違反し、産業安全・技術安全を害するおそれのある自国民の出国を認めないことができる（第4条3項）

基準: 実害の証明は不要。低いハードルである「おそれ」だけで発動可能。

対象: 事前指定されたリストなし。すべての自国民が潜在的対象となり得る。

先行事例：Manus買収阻止事件

正式な規定が存在しない段階で実施された「創業者の出国阻止」が、新規定の布石（Beta-test）として機能した。



2025年12月

2026年4月27日

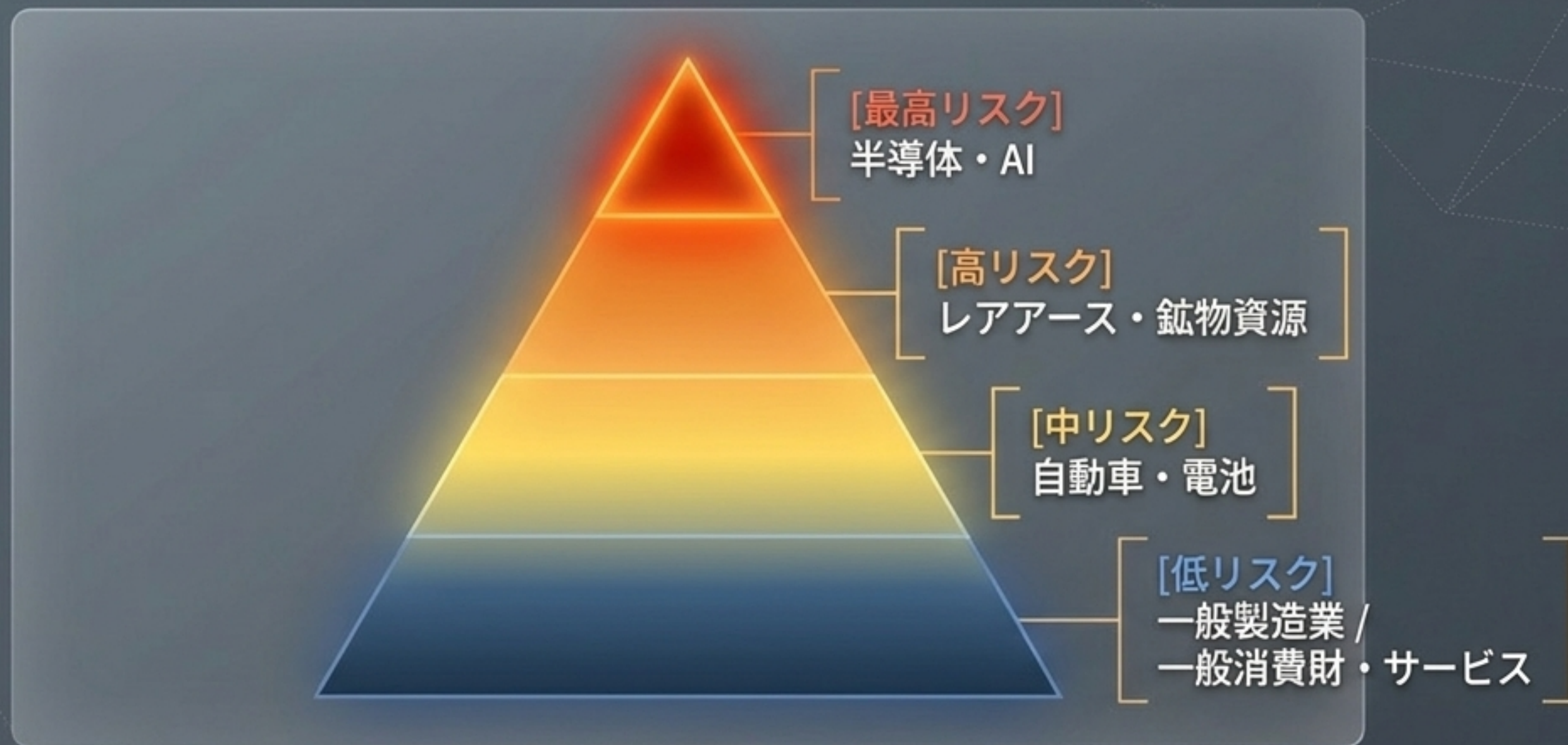
2026年9月15日

MetaによるAIスタートアップ
「Manus」買収提案（約20～
30億ドル規模）。

中国国家発展改革委員会
（NDRC）が買収を全面的に
差し止め。
【個別介入】創業者（CEO・
チーフサイエンティスト）の
出国を禁止。

新規定施行。
【一般ルール化】個別介入を
制度化・広範化。

技術者出国リスク・チェッカー（TK MAX推定モデル）



※条文に対象業種の列挙はありません。本分類は既存の輸出管理や過去事例（Manus等）に基づく独立した推定であり、中国政府の公式分類ではありません。

世界の出国管理スペクトラム：政策構造の比較

技術流出を防ぐ目的は共通だが、韓・台が「対象の明確化と司法プロセス」を持つ一方、中国は「ブラックボックス化された行政裁量」に依存している。

韓国 「産業技術保護法」

- ・ 国家核心技術の事前指定
- ・ 移転・転職時の承認手続き
- ・ 司法審査プロセス可能

台湾 「国家安全法（2022改正）」

- ・ 指定企業の核心技術者に限定
- ・ 敵対勢力への漏洩を刑事罰化
- ・ 厳格な司法プロセス

中国（新規定） 「国务院令841号」

- ・ 対象業種の事前指定なし
- ・ 実害不要の「おそれ」基準
- ・ 不透明な広範的行政裁量（商務部）

出国管理マトリクス分析

国名	対象の明確さ（事前指定）	発動要件	決定プロセス
韓国	明確（核心技術指定）	移転・転職の事実	司法審査あり
台湾	明確（指定企業）	敵対勢力への漏洩	刑事・司法プロセス
中国	不明確（指定なし）	おそれ（実害不要）	行政裁量（商務部等）
ロシア	（未実施・NATO渡航制限報道）	-	-
北朝鮮	該当なし（全域禁止）	恒常的制限	独裁体制

管理強度のグローバル・スペクトラム

中国の新規制は、自由主義圏の法的枠組みから逸脱し、極端な制限国家の領域へとシフトする「見えない国境」を構築している。



新規定に対する多角的な視点 (Dual Perspectives)



合理的な対称的防御

- 米国や同盟国による対中輸出管理強化への防衛措置。
- 技術流出懸念は各国共通の国家安全上の課題であるという解釈。



不透明性によるチャイナリスク

- 事前指定のない「おそれ」基準がもたらす予測可能性の欠如。
- 海外資本や高度人材の「中国離れ（逃避）」を加速させるという懸念。

※事象の解釈は視聴者・投資家の皆様の判断に委ねられます。

連鎖シナリオ：不透明さがもたらすドミノ効果

Stage 1

法規定の施行

第841号による「おそれ」基準の
ブラックボックス化。

Stage 2

個別介入の広範化

Manus事例のような、経営者・技
術者の出国阻止リスクの常態化。

Stage 3

ビジネス判断への影響

グローバル企業によるM&Aの躊
躇、R&D拠点の見直し、配置転換
の凍結。

Stage 4

流動性低下

人材と資本の中国市場への流入減
少・固定化リスク。

Disclaimer & Policy (免責事項と当サイトのスタンス)

独立した分析:

本資料は公開情報に基づく独立した研究目的のコンテンツであり、特定の結論を押し付けるものではありません。

非助言:

投資助言、政策提言、法的助言を目的としたものではなく、内容の正確性を保証するものではありません。

推定モデルの性質:

リスク・チェッカー等の分類はTK MAXによる独自の簡易推定であり、各国政府の公式見解ではありません。

制作プロセス:

音声解説およびスライドはAIツールを用いて自動生成・最適化されています。